

高山市新エネルギービジョンの見直しについて

1. 計画の概要

【位置づけ】

- ・市民、事業者、行政等が同じ方向性を持って新エネルギーの導入と省エネルギーの取り組みをすすめるために策定。

【計画期間】

- ・平成26(2014)年度～令和2(2020)年度までの7年間

【計画の将来像】

- ・市民誰もが身近で豊かな自然を利用し、自然エネルギーの利用による暮らしの豊かさを実感できる自然エネルギー利用日本一の都市

【取り組みの柱】

- ・新エネルギーの導入や省エネルギーの取り組みをすすめます
- ・新エネルギーを活かした地域産業の発展を図ります
- ・新エネルギーを活かした特色ある地域づくりをすすめます
- ・新エネルギーを活かした安全安心なまちづくりの構築をすすめます

【目標値】

1. 新エネルギーによる電力の創出にかかる目標値
90,000MWh/年の創出（市民一人あたり約1MWh/年）
2. 化石燃料から新エネルギーへの転換にかかる目標値
9,000kl（原油換算）/年の転換（市民一人あたり約100l（原油換算）/年）

2. 見直しの理由

- ・現行計画の計画期間が令和2年度で終了
- ・現行計画の進捗状況と課題の整理
- ・第八次総合計画、環境基本計画をはじめとした各種計画との整合
- ・現行計画策定から今日までの社会情勢や環境問題の変化への対応
 - ※自家消費型エネルギーの活用促進
 - ※地域団体による自然エネルギーの活用促進
 - ※木質バイオマスの活用促進
 - ※再エネ100宣言 RE Action など、再エネ活用促進

3. 今後の予定（案）

令和2年	環境審議会（1回） 自然エネルギーによるまちづくり検討委員会（2回） 議会委員会
令和3年1～3月	パブリックコメント、環境審議会（1回）

高山市新エネルギービジョン目標値の達成状況について (平成30年度末)

1. 新エネルギーによる電力の創出

◇目標値 : 90,000MWh/年 (令和2年度末)

◇実績値 : 37,584MWh/年 (平成30年度末)

内訳：太陽光発電	34,060MWh/年
バイオマス発電	1,116MWh/年
小水力発電	1,924MWh/年
地熱発電	484MWh/年

2. 化石燃料から新エネルギーへの転換

◇目標値 : 9,000kℓ (原油換算) /年 (令和2年度末)

◇実績値 : 4,506kℓ (原油換算) /年 (平成30年度末)

内訳：太陽熱利用	840kℓ (原油換算) /年
バイオマス熱利用	1,496kℓ (原油換算) /年
クリーンエネルギー自動車	2,170kℓ (原油換算) /年